

令和6年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

【健康福祉学部 総合福祉学科】		(全学共通科目)7単位		(専門科目)9単位		合計 16単位	
学部名	学科名	教育区分	授業科目名	開講年次	科目担当教員	単位数	実務経験に基づく授業内容等
	全学共通科目	教養	体育実技 テニス	1年	磯辺 和正	1	日本スポーツ協会公認テニスコーチ2資格。岐阜県テニス協会強化委員長として国民体育大会監督、大学運動部の監督や岐阜市スポーツ教室講師。全国レベルから初心者までの指導経験を授業に生かしている。
	全学共通科目	教養	キャリア形成	2年	白木 由香	2	外資系企業・海外勤務の経験を活かし、この授業では、自己理解を深め、自分の強み、価値観・興味・関心を明らかにし、学生に自己の職業適正・社会で働くために必要とされる能力、将来設計について主体的に考えることを目指す。
	全学共通科目	教養	インターンシップA	3年	白木 由香	2	外資系企業・海外勤務の経験を活かし、この授業では、学内での事前授業・夏季就業体験、インターンシップ報告会を通して、就業体験と大学での学習を統合し、自己の職業適正や将来設計について考えてもらう。
	全学共通科目	教養	インターンシップB	3年	白木 由香	2	外資系企業・海外勤務の経験を活かし、この授業では、就職活動を見据えた春季就業体験と位置付け、自己の職業適正や将来設計についてより深く考えてもらう。
健康福祉学部	総合福祉学科	専門	介護概論	1年	岩本 義浩	2	身障者療養施設における介護職員としての実務経験に基づき、介護福祉の専門職が介護を通して個々人なりの生き方をどのように肯定的に理解しつつその意向に沿った支援に携わっていったらよいかについて、学生が本質を見極めて考察していくことができるように、本質を見据える手がかりを適宜提示していく授業展開を行う。
健康福祉学部	総合福祉学科	専門	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	3年	田上 博幸	1	精神保健福祉士として業務に携わった経験を生かした授業を通して、精神保健福祉援助実習に係る個別指導及び集団指導を行い、精神保健福祉援助に必要な基礎知識と基本的な技術について習得させる。
健康福祉学部	総合福祉学科	専門	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	3年	田上 博幸	1	精神保健福祉士として業務に携わった経験を生かした授業を通して、精神保健福祉士に求められる資質、技能、倫理、課題把握力等、総合的に対応できる技能を習得させる。
健康福祉学部	総合福祉学科	専門	医用機器安全管理学	3年	古川 泰士	2	病院内の透析室及び腎臓病センターでの勤務経験により医用機器に対する安全管理手法(トレーニング、保守点検)を用いて、学生に実践することで、臨地実習および卒業後の業務に活かせる指導をする。
健康福祉学部	総合福祉学科	専門	精神保健福祉援助演習Ⅱ	4年	田上 博幸	2	精神保健福祉士として業務に携わった経験を生かした授業を通して相談援助に係る専門知識と高度な技術に関する実践的スキルを習得させる。
健康福祉学部	総合福祉学科	専門	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	4年	田上 博幸	1	精神保健福祉士として業務に携わった経験を生かした授業を通して、具体的な体験や援助活動を専門的知識及び技術として概念化し体系化していくスキルを習得させる。

【健康福祉学部 管理栄養学科】			(全学共通科目)7単位		(専門科目)10単位		合計 17単位	
学部名	学科名	教育区分	授業科目名	開講年次	科目担当教員	単位数	実務経験に基づく授業内容等	
	全学共通科目	教養	体育実技 テニス	1年	磯辺 和正	1	日本スポーツ協会公認テニスコーチ2資格。岐阜県テニス協会強化委員長として国民体育大会監督、大学運動部の監督や岐阜市スポーツ教室講師。全国レベルから初心者までの指導経験を授業に生かしている。	
	全学共通科目	教養	キャリア形成	2年	白木 由香	2	外資系企業・海外勤務の経験を活かし、この授業では、自己理解を深め、自分の強み、価値観・興味・関心を明らかにし、学生に自己の職業適正、社会で働くために必要とされる能力、将来設計について主体的に考えることを目指す。	
	全学共通科目	教養	インターンシップA	3年	白木 由香	2	外資系企業・海外勤務の経験を活かし、この授業では、学内での事前授業、夏季就業体験、インターンシップ報告会を通して、就業体験と大学での学習を統合し、自己の職業適正や将来設計について考えてもらう。	
	全学共通科目	教養	インターンシップB	3年	白木 由香	2	外資系企業・海外勤務の経験を活かし、この授業では、就職活動を見据えた春季就業体験と位置付け、自己の職業適正や将来設計についてより深く考えてもらう。	
健康福祉学部	管理栄養学科	専門	微生物学	1年	山本 初津恵	2	岐阜県立岐阜病院(現:岐阜県総合医療センター)においてのべ5年間微生物検査室に勤務。移り変わりの激しい感染症領域は学ぶべき内容は格段に増加しているが、必要と考えられる情報を選択し意味づけを行うことが大切であることを講義する。	
健康福祉学部	管理栄養学科	専門	給食経営管理論Ⅰ	2年	山内 加代子	2	管理栄養士の経験を活かし、給食業務を合理的・効率的に管理・運営するために必要な栄養面、安全面を考慮し、マネジメントの基本的な考え方や方法について、多職種と協働して食生活の側面から給食対象者の健康をサポートする方法について学生の理解度を深める。	
健康福祉学部	管理栄養学科	専門	検査総合管理学Ⅰ	2年	山本 初津恵	2	岐阜県立岐阜病院(現:岐阜県総合医療センター)・岐阜県立健康管理院等において40年間臨床検査技師として勤務。検査総合管理学Ⅰでは、臨床検査の使命、意義をはじめ臨床検査部門の組織やチーム医療など臨床検査の業務を中心とした、役割について講義する。	
健康福祉学部	管理栄養学科	専門	栄養治療学実習	3年	長屋 紀美江	1	病院での管理栄養士としての経験を活かして、臨床の現場で求められる栄養管理やケアの知識について授業で実践演習を行う。	
健康福祉学部	管理栄養学科	専門	臨床栄養活動論実習	3年	長屋 紀美江	1	病院での管理栄養士としての経験を活かして、糖尿病や嚥下障害など、個々の患者に応じた栄養管理やケアの実践について、授業で実践演習を行う。	
健康福祉学部	管理栄養学科	専門	給食経営管理実習	3年	山内加代子	2	病院や福祉施設での業務経験を活かし、給食経営の方法や給食業務の流れ、HACCPに基づいた衛生管理、大量調理の方法と技術などを実際の提供方法などに基づいて指導する。	

【人間関係学部 心理学科】			(全学共通科目)7単位	(専門科目)8単位	合計	15単位	
学部名	学科名	教育区分	授業科目名	開講年次	科目担当教員	単位数	実務経験に基づく授業内容等
	全学共通科目	教養	体育実技 テニス	1年	磯辺 和正	1	日本スポーツ協会公認テニスコーチ2資格。岐阜県テニス協会強化委員長として国民体育大会監督、大学運動部の監督や岐阜市スポーツ教室講師。全国レベルから初心者までの指導経験を授業に生かしている。
	全学共通科目	教養	キャリア形成	2年	白木 由香	2	外資系企業・海外勤務の経験を活かし、この授業では、自己理解を深め、自分の強み、価値観・興味・関心を明らかにし、学生に自己の職業適正、社会で働くために必要とされる能力、将来設計について主体的に考えることを目指す。
	全学共通科目	教養	インターンシップA	3年	白木 由香	2	外資系企業・海外勤務の経験を活かし、この授業では、学内での事前授業、夏季就業体験、インターンシップ報告会を通して、就業体験と大学での学習を統合し、自己の職業適正や将来設計について考えてもらう。
	全学共通科目	教養	インターンシップB	3年	白木 由香	2	外資系企業・海外勤務の経験を活かし、この授業では、就職活動を見据えた春季就業体験と位置付け、自己の職業適正や将来設計についてより深く考えてもらう。
人間関係学部	心理学科	専門	救急医学概論	1年	山藤 伸雄	2	救急救命士としての実務経験を活かし、医の倫理・生命倫理・救急医療体制及び病院前救護体制(プレホスピタルケア)における救急救命士の業務役割等、救急業務全般の講義をする。
人間関係学部	心理学科	専門	救急処置総論	1年	永井 覚	2	救急救命士としての実務経験を活かし、救急現場での傷病者の全身観察、局所観察並びに病院前救護活動の本質と救急隊員が行う応急処置等の基本を理解し、救急救命士として必要な教養を習得する。
人間関係学部	心理学科	専門	児童心理学	2年	寺田 道夫	2	小中学校教員及び管理職、教育センター相談部員として長年、児童生徒の教育や教育相談業務等に関わってきた経験を活かし、この授業では児童期の心理学的発達の特性や守秘義務を厳守しつつ、小学生の不登校・いじめ問題等、実践守秘義務を厳守しつつ凡例を基に今日的課題について学生に考察させる。
人間関係学部	心理学科	専門	青年心理学	2年	寺田 道夫	2	小中学校教員及び管理職、教育センター相談部員として長年、児童生徒の教育や教育相談業務等に関わってきた経験を活かし、この授業では青年期の心理学的発達の特性について具体例を上げながら学生の理解を深めさせる。青年期の心の問題の現状については、守秘義務を厳守しつつ、中学生の不登校・いじめ問題に焦点を当て、心理的力動の理解に基づく対処の在り方に学生に考察させる。

【人間関係学部 子ども発達学科】			(全学共通科目)7単位	(専門科目)8単位	合計	15単位	
学部名	学科名	教育区分	授業科目名	開講年次	科目担当教員	単位数	実務経験に基づく授業内容等
	全学共通科目	教養	体育実技 テニス	1年	磯辺 和正	1	日本スポーツ協会公認テニスコーチ2資格。岐阜県テニス協会強化委員長として国民体育大会監督、大学運動部の監督や岐阜市スポーツ教室講師。全国レベルから初心者までの指導経験を授業に生かしている。
	全学共通科目	教養	キャリア形成	2年	白木 由香	2	外資系企業・海外勤務の経験を活かし、この授業では、自己理解を深め、自分の強み、価値観・興味・関心を明らかにし、学生に自己の職業適正、社会で働くために必要とされる能力、将来設計について主体的に考えることを目指す。
	全学共通科目	教養	インターンシップA	3年	白木 由香	2	外資系企業・海外勤務の経験を活かし、この授業では、学内での事前授業、夏季就業体験、インターンシップ報告会を通して、就業体験と大学での学習を統合し、自己の職業適正や将来設計について考えてもらう。
	全学共通科目	教養	インターンシップB	3年	白木 由香	2	外資系企業・海外勤務の経験を活かし、この授業では、就職活動を見据えた春季就業体験と位置付け、自己の職業適正や将来設計についてより深く考えてもらう。
人間関係学部	子ども発達学科	専門	教職概論	1年	白山 眞澄	2	小学校、中学校での教員経験を活かし、この授業では、現代社会において求められる教職の意義と教員の役割、教員の資質能力、職務内容等について理解させ、教育の営みとしての学習指導、生徒指導、学級経営等、学校教育の全体像を模擬活動や討論を通して対話的に学ばせ、教職への適性を考えながら、教職への志向を確かなものにする。
人間関係学部	子ども発達学科	専門	子ども家庭福祉	1年	長瀬 啓子	2	発達支援センター、療育センター、公立障害児者センター、保育所等での経験を活かし、保育者としての子どもや保護者への関わり方や他職種との連携、ネットワーク構築について包括的な観点から具体的に解説する。
人間関係学部	子ども発達学科	専門	音楽科指導法	3年	菅野 道雄	2	小学校教諭としての経験を活かし、教育課程における音楽科の目標、存在意義、小学校のカリキュラムになぜ音楽科の授業があるのかについて解説し、音楽科の具体的学習内容について理解したうえで、音楽科の授業に積極的に取り組むことのできる教師の育成をめざす。
人間関係学部	子ども発達学科	専門	教育経営論	1年	脇田 正	2	小中学校併せて10年間の管理職経験をもとに、教職員組織の在り方、学校の諸課題に対する組織的対応・危機管理の実態を具体的に示し、学校組織の一員としての実践的職務遂行力の育成に結びつける。

【短期大学部 幼児教育学科】			(専門科目)8単位 合計 8単位				
学部名	学科名	教育区分	授業科目名	開講年次	科目担当教員	単位数	実務経験に基づく授業内容等
短期大学部	幼児教育学科	専門	保育内容総論Ⅰ	2年 LaLa3年	三羽 佐和子	1	幼稚園教諭及び幼稚園園長の経験を基に保育者になるための保育の基礎となる講義で、保育とは何か・子どもの理解・保育の方法・計画・保育者の役割等を学ぶ。実践経験のない学生がよりよく理解できるように、現場での様々な事例を挙げて講義を行う。
短期大学部	幼児教育学科	専門	保育内容総論Ⅱ	2年 LaLa3年	三羽 佐和子	1	幼稚園教諭及び幼稚園園長の経験を基に「保育内容総論Ⅰ」を踏まえ、保育者になるための実践的な知識・能力を身につける講義を行う。
短期大学部	幼児教育学科	専門	教育・保育課程論	1年 LaLa1年	辻 道代	2	保育計画は、小学校のような教科書のない保育現場にとって、その理解と活用はとて大切である。各園では施設や幼児の実態に合わせて取り組んでいるのが現状である。幼稚園教諭及び幼稚園園長の経験を基に実際に現場でのPDCAを理解できるように事例を挙げて講義をする。
短期大学部	幼児教育学科	専門	保育実習指導Ⅰ	1,2年 LaLa2,3年	辻 道代	2	幼稚園教諭及び幼稚園園長の経験を基に事前学習から指導計画の立案など、実習準備から実習事後の振り返りを点検、指導する。
短期大学部	幼児教育学科	専門	子ども医療学概論	1年 LaLa1年	高岡 光江	2	大学病院での看護師経験を活かし、この授業では学生が自ら保育者として医療を受ける子どもとその家族に必要な支援・関わりについて考え、各自のキャリアに役立てることを目指す。